

令和5年度

基礎探究 ガイダンス



生徒用

学びを楽しむ

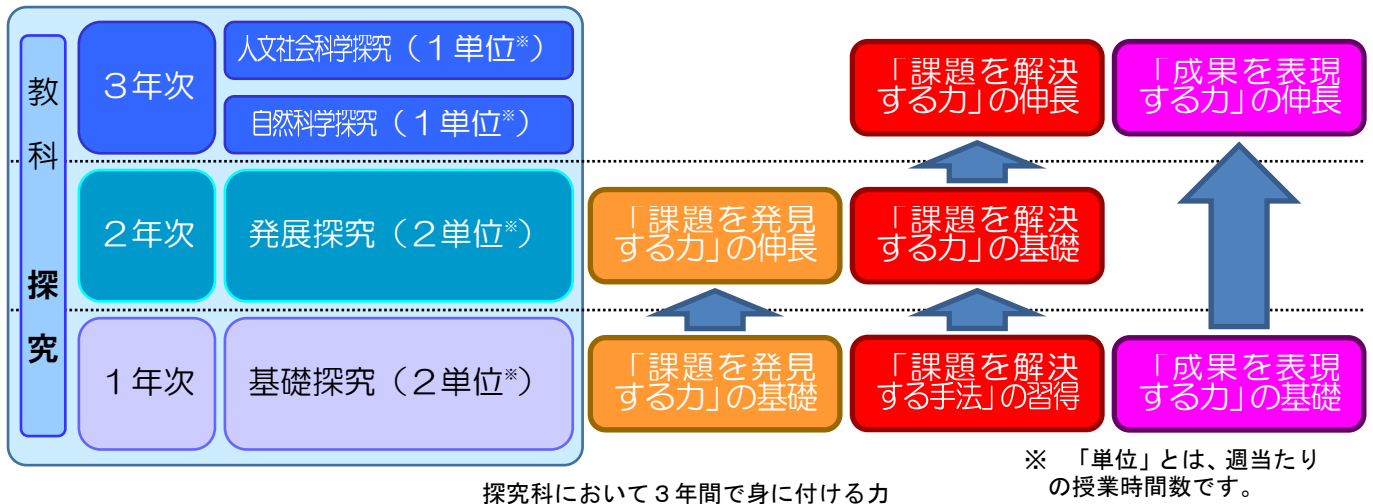
山口県立下関西高等学校

も く じ

1	シラバス	2
2	年間実施計画、教科基礎のテーマ及び発表に向けた準備等 探究科1年「基礎探究」(2単位)実施計画 発表に向けた準備 教科基礎の担当者及びテーマ 探究科1年次生の主な行事	8
3	基礎探究の評価について 評価の種類と評価方法 ルーブリック評価表 (活動評価、研究レポート・講演会ワークシート評価、課題発表評価)	12
4	振り返りシート・配布物等 探究活動を行う上での注意事項 振り返りシート アドバイスシート	16

1 シラバス

「探究」では、3年間の学習を通して、「課題を発見する力」「課題を解決する力」「成果を表現する力」の三つを身に付けることを目標としています。「基礎探究」「発展探究」「人文社会科学探究」「自然科学探究」において知識や技能を身に付けることにより、将来、社会に存在する様々な事象から課題を発見し解決するために必要となる力を身に付けましょう。



(1) 基礎探究

「基礎探究」では「課題を発見する力」と「成果を表現する力」の基礎を身に付けるとともに、「課題を解決する手法」の基礎を習得することを目標としています。3年間にわたって取り組む探究活動を進める上で必要な知識や技能、教養を深めるとともに、グループのメンバーと協力して課題解決を進めるため、意見をまとめる力や表現力、情報活用力を身に付けます。さらに、将来グローバル人材として国際社会で活躍できるようになるため、英語によるディベートなど、英語を実践的に活用する方法を学びます。

ア おもな内容

(ア) 国際理解

英語によるコミュニケーション力を向上させるとともに、英語を使って研究内容を表現できるようになるため、ディベートなどの活動に取り組みます。

(イ) 教科基礎

国語、地歴、公民、数学、物理、化学、生物の7講座の中から、2講座を受講します。2年次の発展探究で求められる知識や技能を身に付けるとともに、課題解決の方法を体験します。

(ウ) 情報活用

2年次の発展探究で必要となる、情報の活用方法を学ぶとともに、プレゼンテーションの技術等を向上させます。

(エ) リレー探究

様々な教科・科目の学習で身に付けた知識や技能を基に、提示されたテーマについて探究します。同じテーマであっても、教科・科目によって取り上げられ方に違いがあります。この活動を通して、物事を多面的に見ることが必要であることを学びます。

(オ) 論理的文章の書き方

文章で探究活動の成果を分かりやすく伝えるため、表現力の向上に取り組みます。

(カ) 体験学習・講演会

地域の施設を訪問し、地域の課題に気付くとともに、大学など研究者から様々な分野の講話を聴くことにより、課題を発見する力を向上させ、解決する手法を身に付けます。

イ 留意すること

さまざまな場面で人の話を傾聴し、グループで意見をまとめ、発表する機会が多くあります。講義においてはもちろんのこと、普段から「不思議」と思うことはないか考えながら意見を傾聴してください。そして自分で「考える」ことに挑戦しながら、疑問を解決していきましょう。なお、レポート等様々な課題が課されます。提出期限を厳守してください。

(2) 発展探究

「発展探究」では、「課題を発見する力」を伸長させるとともに、「課題を解決する力」の基礎を身に付けることを目標としています。このため、私たちの身の周りにある様々な事物・現象から課題を発見し、発見した課題をグループで解決します。1年次に身に付けた、課題解決力、情報活用力・コミュニケーション力を駆使して、設定した課題を深く掘り下げ研究することにより、これらの力をより一層向上させるとともに、他者の意見を聴く力や自身の考えをまとめ表現する力を伸長させます。また、グローバル社会で活躍する人材に求められる英語力を向上させるため、大学などを訪問し留学生と交流します。

ア おもな内容

(ア) 課題研究

同じ研究班のメンバーと設定した課題を解決するため、仮説を立て、調査、観察、実験等を計画的に行い、結果を検証・考察し、結論を導きます。9月の中間報告会で研究の進捗状況を報告するとともに、1月末には校内発表会を開催します。こうした発表会等では、大学等の先生方から助言をいただいたり、生徒同士でディスカッションを行ったりして、研究を深めていきます。

(イ) 体験学習

大学を訪問し、留学生と交流します。これにより、英語を活用する力を実践的に向上させるとともに、海外で行う校外研修等に備えます。

イ 留意すること

研究班のメンバーと協力しながら、調査、観察、実験の結果を基にして課題を解決することが重要です。普段の学習とは異なり、「課題」に対して決まった答えはありません。研究班のメンバーとアイデアを共有し、「協働する」ことを意識しながら、みなさん自身でオリジナルな答えを導き出しましょう。なお、スライドの作成や研究要旨、論文、ポスターの作成等が課されます。提出期限を厳守してください。

(3) 人文社会科学探究・自然科学探究

「人文社会科学探究」「自然科学探究」では、「成果を表現する力」を伸長させるため、2年次の発展探究の授業において取り組んだ課題研究の成果を基にして、学校外で行われる様々な課題研究発表会や論文コンテストに参加します。さらに、1・2年次に身に付けた「課題を解決する力」をより一層向上させるため、各教科・科目で課題解決的な学びに取り組みます。

ア おもな内容

(ア) 発表活動

2年次に取り組んだ課題研究の成果を基にして、ポスターの作成や、英語による研究要旨の作成等に取り組みます。こうして作成した成果物を基にして、学校外で開催される課題研究発表会や論文コンテストに参加します。

(イ) 課題解決学習

各教科・科目で課題解決学習に取り組むことにより、将来必要となる課題解決力をより実践的に向上させます。

イ 留意すること

1・2年次に取り組んだ課題解決力をより一層高め、実践的に活用する方法を身に付けることを目標としています。探究科の集大成の科目であることから、仲間と協力して、学習に積極的に参加しましょう。

(4) 発表会等

ア 探究学習生徒研究発表会

本校で取り組む探究学習を保護者の方々や地域の皆さんに披露するため、探究学習生徒研究発表会を開催します。本発表会では、1年次の「基礎探究」や2年次の「発展探究」で学んだ成果及び普通科の1・2年次生がNCAで取り組んだ課題研究の成果を発表します。

イ 学校外で開催される課題研究発表会や論文コンテスト

2年次の3月には、県内の探究科、理数科及び英語科等の生徒が集まり、課題研究の成果を発表する探究学習成果発表大会が開催されます。この発表会には、探究科の2年次生から選ばれた、代表が発表します。さらに、2年次末から3年次にかけて大学や学会等が主催する課題研究発表会や論文コンテストにも参加します。こうした課題研究発表会等に参加した際には、発表することはもとより、全国の高校生と積極的に交流しましょう。

探 究 シラバス

教科	科目	学年	学科	単位数	授業形態
探 究	基礎探究	1 年	探究科	2 単位	講義・演習・発表
使用教科書 (発行所)	課題研究メソッド 2nd Edition (新興出版啓林館)		副教材 (発行所)	基礎から始める情報リテラシー office2013 (実教出版)	

学 習 計 画

学 期	授 業 内 容 (単元・教材等)	学 習 上 の 留 意 点 等
1 学 期	西高海峡ディスカバリー (オリエンテーション) 西高海峡ディスカバリー発表 教科「探究」ガイダンス・「教科基礎」選択希望調査 教科基礎①または英語① 中間考査 (実施しない)	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究活動」の目的を理解し、協働して課題解決に取り組む資質や能力を身に付ける。 ・1年間の活動の目的と学習内容を理解する。人文社会科学・自然科学の両分野を学ぶことにより、知識を深め、自分の興味・関心に気付く。 ・A：各選択講座において探究活動の基礎を学ぶ。 B：英語で意見を述べる力を身に付ける。
	進路探究 (進路指導) リレー探究 英語①または教科基礎① 情報 期末考査 (実施しない)	<ul style="list-style-type: none"> ・進路に関する情報をもとに、今後の進路選択の参考にする。 ・A：英語で意見を述べる力を身に付ける。 B：各選択講座において探究活動の基礎を学ぶ。 ・さまざまな形態の情報を統合化して、わかりやすく表現するための知識と技能を身に付ける。 ・探究活動において必要となる、情報活用力を身に付ける。
	【夏季休業】 夏休みディスカバリープロジェクト 夏休みディスカバリープロジェクト発表 発展探究中間報告会参観 教科基礎② 英語②	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の施設を訪問し、自ら課題を見つける。 ・夏休みディスカバリープロジェクトの成果をポスターにまとめ発表する。「課題を発見する力」「成果を表現する力」を向上させる。 ・探究科の2年次で取り組む発展探究の中間報告会を参観することにより、課題研究の取組方を学ぶとともに、「成果を表現する力」を向上させる。 ・各選択講座において探究活動の基礎を学ぶ。 英語で意見を述べる力を身に付ける。
	中間考査 (実施しない) 大学訪問 (終日) キャリアセミナー 情報 期末考査 (実施しない)	<ul style="list-style-type: none"> ・各選択講座において探究活動の基礎を学ぶ。 ・大学において講義や実習を体験することにより、「課題を発見する力」を向上させる。 ・将来、活躍する姿を思い浮かべながら、様々な職種について理解を深める。 ・さまざまな形態の情報を組み合わせ、わかりやすく表現するための知識や技能を身に付ける。
2 学 期	各講演会	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな分野の講演を聴き、論理的な思考力・判断力・表現力を身に付ける。
	【冬季休業】 進路探究 (小論文) 情報 発展探究校内発表会参観 発展探究の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的に文章を構成する力身に付けることにより、研究成果を文章で表現する力を身に付ける。 ・さまざまな形態の情報を組み合わせ、適切に表現するための知識や技能を身に付ける。 ・探究科の2年次生が取り組んだ発展探究の発表会を参観することにより、課題研究の意義に気付く、来年度の研究内容について考える。
	学年末考査 (実施しない) 発展探究テーマ決定	<ul style="list-style-type: none"> ・発展探究に向けての準備を行う。
	【春季休業】	
3 学 期		

評 価 方 法

教科基礎、講義、研究発表会等における取り組みの状況や提出レポート、提出物・発表等の成果を踏まえ、総合的に評価する。

2 年間実施計画、教科基礎のテーマ及び発表に向けた準備

令和5年度 探究科1年「基礎探究」(2単位)実施計画

2023/4/4

学期	月	日	曜	時限	時数	1年5組	時数	1年6組	実施場所	備考	
	4	14	金	終日	行事	西高海峡ディスカバリー (探究科オリエンテーション)			校外(唐戸地区)	取り切り	
	4	19	水	6時限	1	探究ガイダンス・選択希望調査	1	探究ガイダンス・選択希望調査	旭陵館		
				7時限	2	発表のスキルアップ・発表準備	2	発表のスキルアップ・発表準備			
	4	26	水	6時限	3	西高海峡ディスカバリー 発表準備	3	情報①	発表準備: HR教室 情報: 数学教室		
				7時限	4	情報①	4	西高海峡ディスカバリー 発表準備			
	5	3	水	憲法記念日							
	5	10	水	6時限	5	西高海峡ディスカバリー 発表準備	5	情報②	発表準備: HR教室 情報: 数学教室		
				7時限	6	情報②	6	西高海峡ディスカバリー 発表準備			
	5	17	水	6時限	7	西高海峡ディスカバリー 発表会	7	西高海峡ディスカバリー 発表会	各HR教室		
				7時限	8		8				
	5	24	水	6時限	9	教科基礎 選択①	9	教科基礎 選択①	各教室		
				7時限	10		10				
	5	31	水	旭陵祭準備							
	6	7	水	6時限	11	リレー探究①	11	リレー探究①	旭陵館or体育館		
				7時限	12		12				
	6	14	水	6時限	13	情報③	13	リレー探究②(スピーチ準備)	情報: 数学教室, リレー探究: HR教室	6時限45分	
				7時限	14	進路講演会 ①	14	進路講演会 ①	体育館		
	6	21	水	6時限	15	リレー探究②(スピーチ準備)	15	情報③	リレー探究: 各HR教室 情報: 数学教室		
				7時限	16	情報④	16	リレー探究③(スピーチ)			
	6	28	水	期末考査 (代休)							
	7	5	水	6時限	17	リレー探究③(スピーチ)	17	進路のしおり	リレー探究: 各HR教室 情報: 数学教室		
				7時限	18	進路のしおり	18	情報④			
	7	12	水	クラスマッチ							
	7	19	水	6時限	19	情報⑤	19	夏休みディスカバリープロジェクトに向けて	夏休みディスカバリープロジェクトに向けて	夏休みディスカバリープロジェクトに向けて: 各HR教室 情報: 数学教室	
				7時限	20		夏休みディスカバリープロジェクトに向けて				20
	8	3	木	行事(終日)		夏休みディスカバリープロジェクト(いずれか1日参加)		夏休みディスカバリープロジェクト(いずれか1日参加)	各施設	前期課外8月2日(木)まで?	
	8	30	水	体育大会 練習							
	9	6	水	6時限	21	夏休みディスカバリープロジェクト発表準備	21	夏休みディスカバリープロジェクト発表準備	各HR教室		
				7時限			7限なし				
	9	13	水	月曜日課							
	9	20	水	6時限	9月21日(木)3限授業振替	9月22日(木)4限授業振替	9月21日(木)3限授業振替	9月22日(木)4限授業振替			
				7時限							
	9	21	木	3時限	22	発展探究中間報告会参観	22	発展探究中間報告会参観	旭陵館	授業振替	
				4時限	23		23				
				5時限	24		24				
				6時限	25		25				
	9	27	水	4時限	9月21日(木)5限授業振替	9月21日(金)6限授業振替	9月21日(木)5限授業振替	9月21日(金)6限授業振替			
				5時限							
	10	5	水	中間考査							
	10	11	水	6時限	26	夏休みディスカバリープロジェクト発表会	26	夏休みディスカバリープロジェクト発表会	各HR教室		
				7時限	27		27				
	10	18	水	行事(終日)	28~34	九州大学訪問	28~34	九州大学訪問	九州大学	授業取り切り	
	10	25	水	6時限	35	英語(ディベート)	11月17日(金)2限授業振替	情報⑥	英語: 旭陵館 情報: 数学教室		
				7時限	36						35
	11	1	水	6時限	37	11月17日2限振替	36	英語(ディベート)	英語: 旭陵館 情報: 数学教室		
				7時限	38	情報⑥	37				
	11	8	水	6時限	38	教科基礎 選択②	38	教科基礎 選択②	各教室		
				7時限	39		39				
	11	15	水	6時限	40	情報⑦	11月17日(金)3限授業振替	情報⑦	情報: 数学教室		
				7時限		11月17日(金)3限授業振替	40	情報⑦			
	11	17	金	2~4時限	41~43	キャリアセミナー	41~43	キャリアセミナー	各教室		
	11	22	水	6時限	44	情報⑧	11月17日(金)4限授業振替	情報⑧	情報: 数学教室		
				7時限							11月17日(金)4限授業振替
	11	29	水	期末考査							
	12	6	水	6時限	45	発展探究グループ分け	45	情報⑨	グループ分け: 旭陵館 情報: 数学		
				7時限	46	進路講演会	46	進路講演会			
	12	13	水	6時限	47	情報⑨	47	発展探究グループ分け	旭陵館		
				7時限	48	小論文講演会(進路探究①)	48	小論文講演会(進路探究①)			
	12	20	水	6時限	49	情報⑩	49	情報⑩	情報: 数学教室 日課変更が必要		
				7限なし							
	1	10	水	6時限	50	情報⑪	50	進路探究(小論文②)	進路探究: 各HR教室 情報: 数学教室		
				7時限	51	進路探究(小論文②)	51	情報⑪			
	1	17	水	6時限	52	情報⑫	52	進路探究(小論文③)	進路探究: 各HR教室 情報: 数学教室		
				7時限	53	進路探究(小論文③)	53	情報⑫			
	1	24	水	6時限	54	情報⑬	54	進路探究(小論文④)	進路探究: 各HR教室 情報: 数学教室		
				7時限	55	進路探究(小論文④)	55	情報⑬			
	1	25	木	3時限	56	発展探究校内発表会参観	56	発展探究校内発表会参観	旭陵館	授業振替	
				4時限	57		57				
				5時限	58		58				
	1	31	水	3時限	59	1月25日(木)3限授業振替	59	情報⑭	情報: 数学教室		
				4時限	60	情報⑭	60	1月25日(木)3限授業振替			
	2	7	水	6時限	60	発展探究グループ分け	60	発展探究グループ分け	グループ分け: 旭陵館 進路探究: 各HR教室		
				7時限	61	進路探究(小論文⑥)	61	進路探究(小論文⑤)			
	2	14	水	6時限	61	1月25日(木)4限授業振替	61	1月25日(木)4限授業振替			
				7時限	62	1月25日(木)5限授業振替	62	1月25日(木)5限授業振替			
	2	21	水	学年末考査							

発表に向けた準備

発表会等	準備内容
西高海峡ディスカバリー発表会	西高海峡ディスカバリーで訪問した唐戸地区の施設の見学の成果をもとにして、課題の発見とその課題の解決方法を考える活動を行います。グループごとに、その成果を4分以内で発表します（4分以内で2テーマ発表するため、1テーマにつきおよそ2分です。）。
夏休みディスカバリープロジェクト発表会	4つのグループに分かれて異なる施設を訪問する、夏休みディスカバリープロジェクトの発表会を行います。この発表会では、ポスター発表を行います。なお、発表時間は5分間で、資料としてポスターを印刷した冊子を配布します。それ以外の資料の配布は厳禁です。
探究学習生徒研究発表会 (本校主催) (3月上旬)	本校が主催するこの発表会には、保護者の方はもちろんのこと、学校外から中学生、中・高等学校の先生方、大学の先生等が参観者として来校されます。1年次生は、夏休みディスカバリープロジェクトのポスターを用いて、ポスター発表を行います。1年間の成果を発揮する場ですので、しっかり発表してください。

教科基礎の担当者及びテーマ

区分	教科・科目等	担当者	テーマ
国際理解			
教科基礎	国語		ことばは伝わらない、あるいは所謂日常性の崩壊
	地理歴史		世界で今何が起きているか探ろう
	公民		時事ニュースにアプローチ
	数学		日常生活の中の数学
	理科・物理		物理の目で自然界からのメッセージを解説しよう
	理科・化学		アルギン酸ナトリウムが硬化する条件を探る
	理科・生物		生物研究に関わる計測の基礎
情報活用			
小論文		1年5組及び1年6組の副担任	おおむねNCAにあわせて実施

探究科1年次生が関係する行事は、次のとおりである。

日 時	会 場	行 事
4月14日(金)	唐戸地区	西高海峡ディスカバリー
4月19日(水)	旭陵館	ガイダンス
5月17日(水)	各HR教室	西高海峡ディスカバリー発表会
6月7日(水) 6月21日(水) 7月5日(水)	旭陵館 各HR教室等	リレー探究
8月3日(木) または7日(月) (終日)	各施設	夏休みディスカバリープロジェクト
9月21日(木) 3限～6限	旭陵館	発展探究中間報告会参観
10月11日(水)	各HR教室	夏休みディスカバリープロジェクト発表会
10月18日(水)	九州大学 伊都キャンパス	九州大学訪問
1月25日(木) 3限～5限	旭陵館	発展探究 校内発表会参観
3月10日(日) (終日)	未定	山口県高等学校等探究学習成果発表大会参観
3月16日(土) (終日)	体育館他	山口県立下関西高等学校 探究学習生徒研究発表会

3 基礎探究の評価について

評価の種類と評価方法

1 評価の種類

- (1) 「教科基礎」「情報活用」「国際理解」「講演会・出前授業」及び「発表活動」等を、それぞれルーブリック評価表を用いて評価します。

評価・得点等	評価方法
「教科基礎」「情報活用」「国際理解」の活動に対する評価 40点	ルーブリック評価表（活動評価）を用いて、それぞれ次の配点で評価します。 ① 教科基礎 10点 ② 情報活用 20点 ③ 国際理解 10点
「講演会・出前授業」「リレー探究」等のワークシートに対する評価 40点	出前授業やリレー探究中間報告会、校内発表会を実施した後に書いた振り返りシートなどを基にして、ルーブリック評価表（研究レポート・講演会ワークシート評価）を用いてします。
「発表活動」に対する評価 20点	西高海峡ディスカバリー発表会や夏休みディスカバリープロジェクト発表会等において行った発表活動を評価します。

評価② 基礎探究 研究レポート・講演会ワークシート 評価

評価項目	評価尺度		
	(10～)9点	(8～)7点	(6～)5点
内容	大変良い	良い	もう少し
書式・文字数	<input type="checkbox"/> 指示ページ数・文字数等が守られている		
提出期限	<input type="checkbox"/> 提出期限と提出方法を守っている		
提出物	<input type="checkbox"/> 提出すべきものがすべて揃っている		
	0点		
	未提出		
	満たしていないければ 各項目で1点減点		

評価③ 基礎探究 課題発表評価

	評価尺度							
	5	4	3	2	1			
評価の観点	0							
発表態度 発表技能	<p>原稿に頼らず自分の言葉で研究内容を説明している。説得力のあるプレゼンテーションで、聞き手を魅了している。</p>	<p>一部原稿を参照することがあるが、自分の言葉で発表している。言葉づかい、声の大きさ、話す速度は適切で、分かりやすい。</p>	<p>発表態度は原稿を見ながら話しているが、言葉づかい、声の大きさ、話す速度については、おおむね適切である。</p>	<p>言葉づかい、声の大きさ、話す速度が適切でない。また、終始原稿を見ながら発表し、自分の言葉で発表できていない。</p>	<p>求めているレベルを達成できていないが、幾分の努力が認められる</p>	<p>求めているレベルを達成するには大きな課題がある</p>	0	基準が該当しない
質疑応答	<p>質問者の質問意図を的確に把握し、専門的な質問にも簡潔かつ的確に答えることができる。</p>	<p>質問者の意図に対して、研究した内容に基づいた的確な応答をすることができ</p>	<p>質問内容を把握して応答することができるが、伝える内容の過不足がある。</p>	<p>質問内容を把握できないまま応答し、質問と答えが対応していない。</p>	<p>無言やあいまいな答えに終始し、質問に答えることができない。</p>	<p>この項目の評価は、探究活動には適していない。</p>	<p>この項目の評価は、探究活動には適していない。</p>	

評価① 基礎探究 評価基準

評価の観点						
興味関心・探究心・協働 知識・理解・思考・判断 技能・表現	確固たる課題意識を持って、強い好奇心で活動した。 授業内容を正しく理解し、データ収集や分析を綿密に行った。 調べた資料やデータから独創的なアイデアを導き出した。					
	5	4	3	2	1	0
	求めているレベルを越えて達成している	求めているレベルを十分に達成している	求めているレベルを概ね達成している	求めているレベルを達成できていないが、幾分の努力が認められる	求めているレベルを達成するには大きな課題がある	基準が該当しない

4 振り返りシート・配布物等

探究活動を行う際の注意事項

1 基礎探究・発展探究・人文社会科学探究・自然科学探究の授業における留意点

- ・ 普段の授業と同様に、スマートフォンや携帯電話を使用してはいけません。写真を撮影する必要がある場合には、学校のデジタルカメラや iPad、配布されているタブレットを用いてください。

2 放課後や休日の活動について

- ・ 放課後や休日に探究活動を行う場合には、担当の先生の許可を得て、担当の先生あるいは本校の先生の管理のもとで活動してください。なお、下校時刻は、放課後の部活動と同様とします。

夏季 午後7時まで（午後7時30分完全下校）

冬季 午後6時30分まで（午後7時完全下校）

- ・ 探究活動のため、部活動を欠席する場合には、必ず顧問の先生に申し出てください。無断欠席は厳禁です。なお、部活動の大会やコンクールなどの日程を踏まえて、あらかじめ活動計画を立てておくことが大切です。

3 パソコンや物品の使用について

- ・ 学校の物品を許可なく学校外へ持ち出してはいけません。
- ・ ファイル（データ・画像等）を保存する場合には、それぞれの班に配布されているUSBメモリまたはGoogle Driveを用いてください。なお、発展探究においては、USBメモリ内のファイルを各グループに配布されているノートパソコンのハードディスクに定期的に保存し、バックアップを取っておいてください。
- ・ 学校から配布されているタブレット端末にはUSBメモリを使用することができません。ファイル（データ・画像等）の移動方法を工夫してください。

4 情報モラルについて

- ・ 研究発表で使用する文書や画像については、著作権や肖像権などに十分配慮してください。
- ・ 個人情報やプライバシーを侵害する恐れのある行動を行ってはいけません。安易に他人を撮影したり、撮影した画像等をSNSなどに投稿したりしてはいけません。

<生徒用>

アドバイスシート

発表した研究班を○で囲んでください。

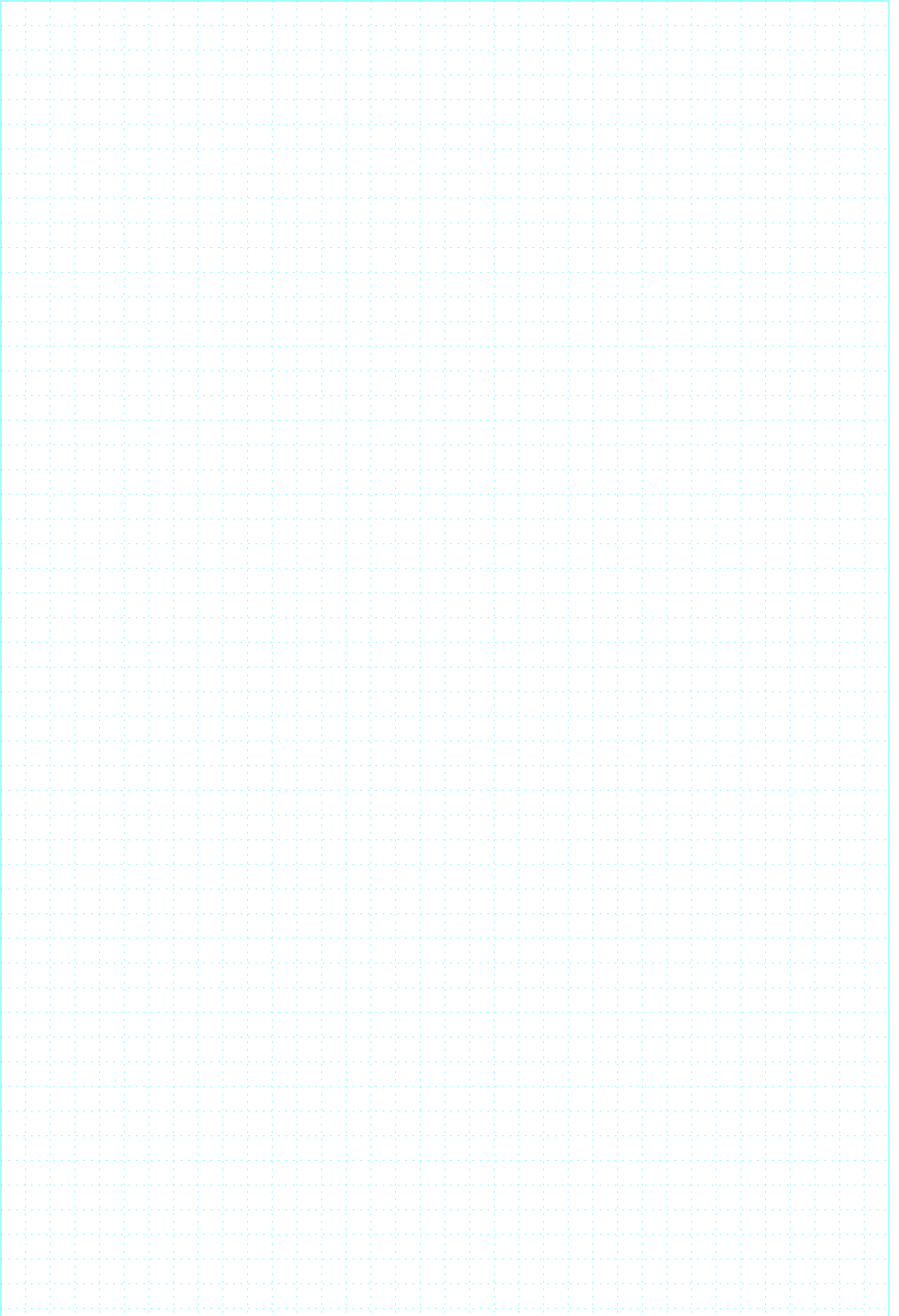
地理歴史	国語	公民	英語	化学2	保健体育	生物2
物理2	生物1	家庭	数学	化学1	物理1	

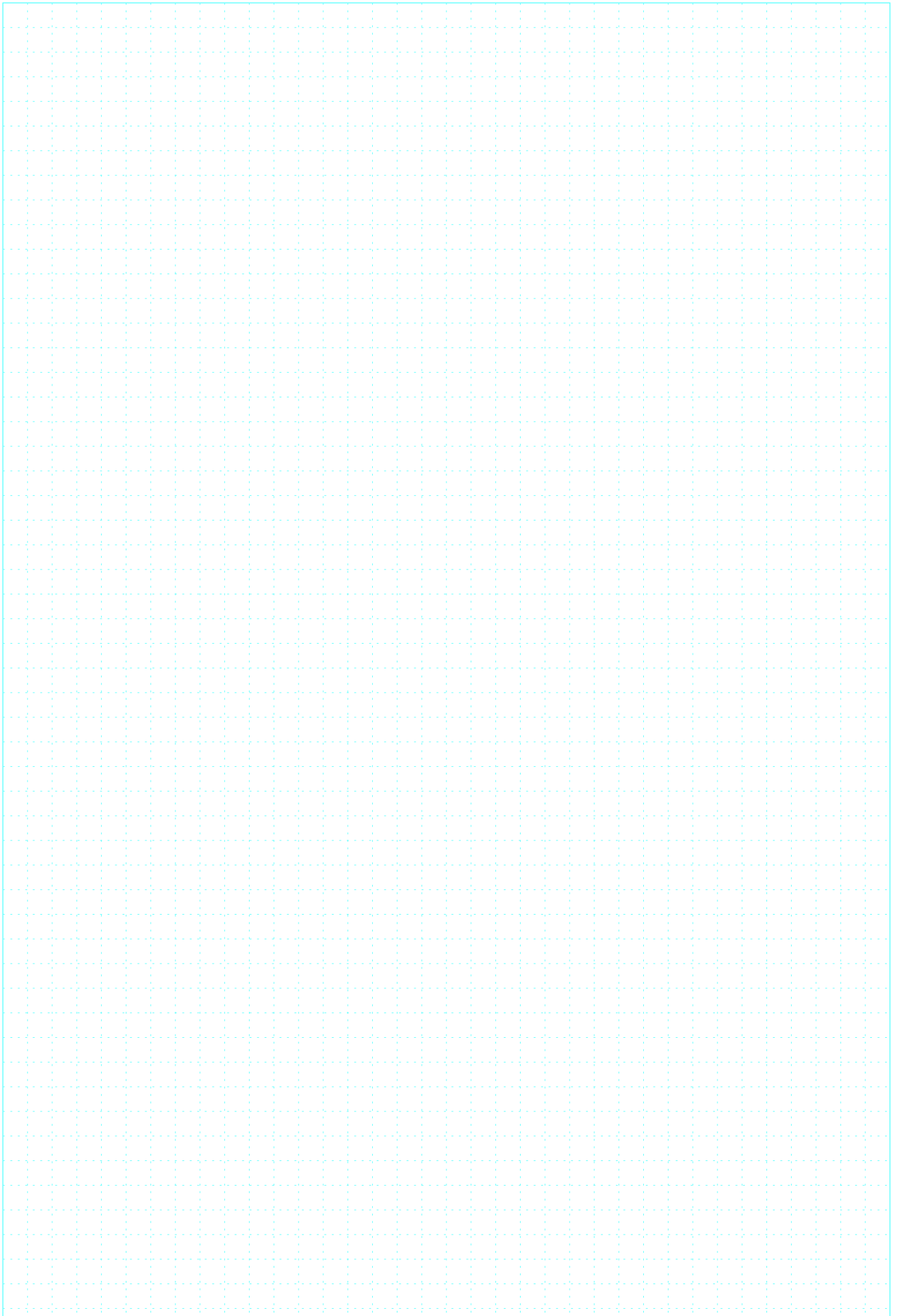
次の項目について、よかったと思うものに○をしてください。(複数可)

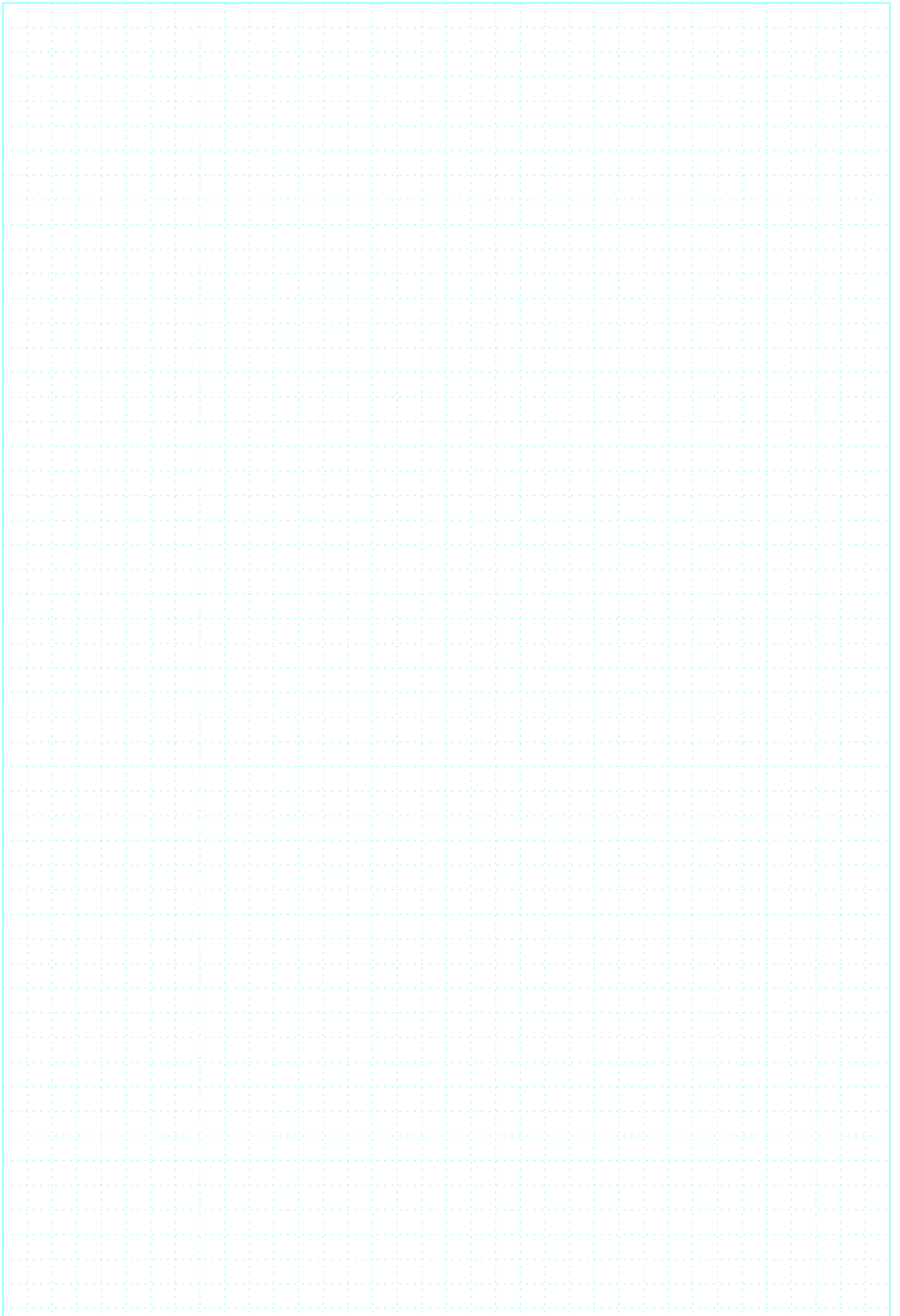
テーマの 独自性	研究方法の 創意工夫	研究の 進み具合	発表の 分かりやすさ	声の大きさ・ 発表態度

よい点や改善点、疑問点など、今後の参考になることがあれば記入してください。

--







令和5年度 基礎探究 ガイダンス

令和5年4月発行

発行 山口県立下関西高等学校

〒751-0892

山口県下関市後田町四丁目10番1号

TEL 083-222-0892

FAX 083-222-0899